

# 宮沢賢治と矢巾町

## 「銀河鉄道の夜」の舞台は南昌山

第9回

宮沢賢治と矢巾町のつながりを紹介するこのコーナー。今回は「銀河鉄道の夜」について、南昌山や親友藤原健次郎との関わりについて紹介します。

賢治晩年の作品である「銀河鉄道の夜」について「矢巾町宮沢賢治を語る会」の松本隆会長は、健次郎へのメッセージ、彼の家族への感謝の気持ちを集大成した作品であるとしています。

松本会長は次の①②③から、「銀河鉄道の夜」が南昌山を舞台として、健次郎のメッセージ、彼の家族への感謝の気持ちを集大成した作品であるとしています。

### ①カンパネラ―藤原健次郎

「銀河鉄道の夜」の登場人物である「ジョパンニ」と「カンパネラ」について、賢治はジョパンニを自分、カンパネラを矢巾町出身の友人藤原健次郎をモデルに描いたと考えられます。カンパネラは、釣鐘草の学名「カンパニユラ」から名付けられたもので、賢治は南昌山を釣鐘を伏せた山の形から「岩鐘」と短歌で詠っており、健次郎を南昌山にたとえた名前で作中に

登場させたと考えられます。

作中、カンパネラは同級生のザネリが川に落ちたのを助けた後、溺れて亡くなっています。これは、健次郎が盛岡中学校野球部の秋田遠征から帰った後、腸チフスにかかって亡くなった事実を置き換えて表現しているとともに、カンパネラが自分を犠牲にしてザネリを助けたエピソードは、誰にでも優しく接した健次郎の人格を表現しています。

### ②水彩画「日輪と山」

賢治が「銀河鉄道の夜」の推敲中、物語をイメージして描いたとされる水彩画「日輪と山」は、描かれた山の形が南昌山について詠った短歌にあるスケッチとよく似ていることから、南昌山をモチーフに描かれた絵と考えられています。さらに、松本会長により、健次郎の生家から夏至の日に見える南昌山の日没が、絵の日没の位置と一致することが確認されました。

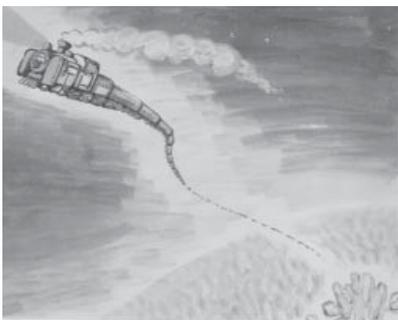
賢治は健次郎の家に遊びに行っていた頃に二人で南昌山の日没を見た時の感動をもとに、

南昌山を舞台とした「銀河鉄道の夜」の物語を描いたと考えられます。

### ③「天気輪の柱」について

南昌山の頂上には、農民たちが農作物が不作の際に天候回復を祈って奉納した石柱が並んでいます。作中に登場する「天気輪の柱」は、賢治が南昌山に登った際に見たこの石柱がモデルであり、「天気輪」は「天気を転ずる（変える）」の意味と考えられます。

さらに、賢治は南昌山の頂上で野宿しており、周辺のホテルの光を思い出しながら、始発駅となる銀河ステーションの情景を、見上げた星空や星座を回想しながら星空を走る「銀河鉄道」を描いたと思われます。



南昌山の頂上から出発する銀河鉄道（イメージ）

今回は、作中の南昌山や健次郎に関連した記述を、章ごとに紹介します。

「希望郷いわて国体」「希望郷いわて大会」

協力者・協力団体募集中！

## 3,000人の「ようこそ！」で会場を飾ろうプロジェクト。

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会では、両大会を訪れる方に対して歓迎と感謝を伝える花いっぱい運動の一環として、プランターシールの作成団体（個人、法人は問いません）を募集しています。作成したシールは両大会の式典会場などに設置するプランターに貼り付け、応援メッセージで大会を盛り上げます。

▶**申し込み方法** 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、同実行委員会へファクシミリまたは電子メールでお申し込みください（応募用紙は「希望郷いわて国体」ホームページからダウンロードできます）。

▶**メッセージの記入** 同実行委員会からお送りするシール（1口25枚）のメッセージ欄に、油性マジックで応援メッセージを記入し、8月1日（月）までに提出してください（提出時の送料は各自負担願います）。

▶**問い合わせ** 詳しくは、同実行委員会事務局総務企画課（☎629-6297、FAX629-6299、電子メール：aa0007@pref.iwate.jp）へ。または、「希望郷いわて国体」ホームページをご覧ください。